

# さめき 水田宮農だより

## 今こそ、**麦**の生産拡大を!



平成28年  
播き麦の  
スローガン

麦は古くから水田二毛作の基幹作物として栽培されています。本県産麦は、実需者から高く評価されており、その需要に応じた生産拡大を図るため、関係者が一丸となって推進をしています。生産者の皆様も、香川が誇る麦の生産拡大にご協力をお願いします。

**作付1割アップ 1,800ha、  
単収2割アップ 360kg**で  
小麦「さめきの夢2009」の  
生産拡大を図りましょう。

## 私たちが香川の麦を応援しています

### 香川県製粉製麺協同組合 理事長 木下 敬三

「さめきうどん」は地方創生・活性化の切り札であり、「さめきの夢」はその核となります。つまり小麦の品質が香川県の将来を左右します。私達の次世代のためにも、高品質の「さめきの夢」の生産をお願いいたします。



### 本場さめきうどん協同組合 理事長 大峯 茂樹

うどん県産小麦「さめきの夢」を皆様の力で増産してください。東日本大震災・熊本地震での炊き出しでも、「さめきの夢」うどんは大活躍をし、被災者の方にも大変喜んでいただきました。一生懸命美味しいさめきうどんを作ります。海外展開もします。よろしくお願いいたします。



### 香川県精麦工業協同組合 理事長 合田 拓宣

大麦・はだか麦は食物繊維・微量栄養素が豊富に含まれており、機能性食品として需要が増加しています。香川県産イチバンボシの品質の良さは我々精麦業者も評価していますので、今後とも良質麦の生産をお願いいたします。

### 目次

- 今こそ、麦の生産拡大を！……1～3P
- 「おいでまい」栽培者募集案内……6P
- これからの香川の米を考える③……4～5P



# 排水対策と適期播種で収量2割増を目指しましょう!



## 麦は畑作物です。麦づくりは排水対策から!

水稻収穫後、ただちに排水対策を実施し、播種適期に播種作業が開始できるよう、早めにはほ場の準備を進めましょう。

### 播種前の排水対策

明きよ（排水溝）やヨケを設置し、降雨後の雨水を速やかにほ場外へ排水し、乾田化を図りましょう。

明きよは、ほ場の畦周りやほ場内に3～5m間隔で設置し、雨水が停滞しないよう落水口と確実に連結しましょう。

特に排水の悪いほ場では、弾丸暗きよ、サブソイラなどで地下浸透を促し、チゼルプラウ、スタブルカルチで表層の乾燥を促進するのも効果的です。



明きよを設置し、雨水をほ場外へ排水

### 播種後の排水対策

耕うん・播種と同時に1行程毎に溝をつける畦立てドリル栽培が有効で、その際は、ほ場周囲にヨケを設置し、排水溝を落水口まで必ず連結しましょう。また、麦の生育期間中には、排水溝の点検・補修を兼ねて、土入れを行いましょう。



播種後すぐに排水溝を連結



排水溝を落水口まで必ず連結

## 適期播種で収量と品質の向上を!

近年は播種適期の降雨により、播種が遅れたり、練り播きや出芽不良などにより収量が低下する事例が見られます。

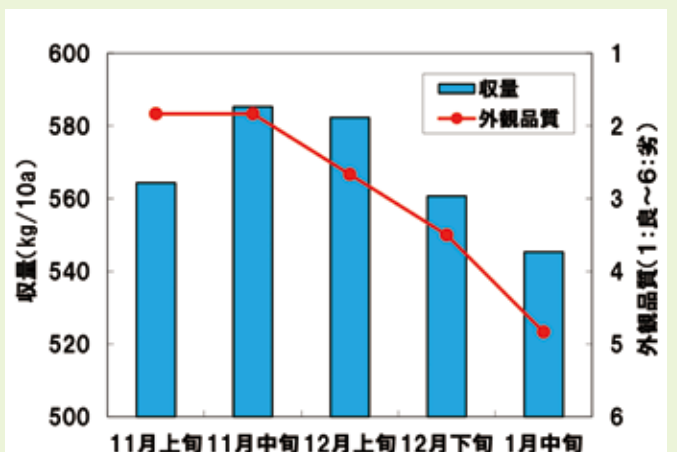
播種早限になり、土壤水分が適正になったら、すぐに播種作業ができるよう準備を進めておきましょう。

### 小麦、はだか麦ともに

播種早限→11月10日

播種適期→11月15～25日

適期播種で最多収となり、播種が遅れるほど収量・品質ともに低下しやすくなります。



「さめきの夢2009」の播種期と収量及び外観品質  
(平成22年～24年播の3ヵ年平均、農業試験場)

## 苦土石灰やケイカルなどで土づくりを行いましょ！

近年、麦の生育不良ほ場が増加しています。作付規模の拡大等に伴い、土づくりが疎かになる傾向があります。播種前に苦土石灰などの土壌改良資材を施用して、土づくりを行いましょ。

- 原因**
- ① pH低下による酸性障害
  - ② 微量元素欠乏(過剰)による生理障害

- 対策**
- ① 苦土石灰の施用
  - ② ケイカル等の土づくり肥料の施用



pH5以下で生育障害が顕著



株全体の生育が不良で特に新葉が黄化

## 雑草草種に応じた除草剤の選定と適切な体系処理を行いましょ！

### <除草剤抵抗性スズメノテッポウ>

- ・トレフアノサイド、ハーモニーが効かない
- ・初期除草剤はボクサーが有効だがノミノフスマが残草しやすい→中期除草剤との体系処理

### <オオスズメノカタビラ、ネズミムギ、カラスムギ>

- ・播種前の非選択性茎葉処理剤+播種後の土壌処理剤による体系処理

## 「さめきの夢」生産拡大加速化事業を活用して作付拡大に取り組みましょ



### 「さめきの夢」生産拡大加速化事業(香川県、JA香川県)

**内容** 前年より「さめきの夢2009」の作付けを維持・拡大しようとする担い手に対して、8haを超える作付面積に応じて助成します。

**補助率** A区分:10haを超える部分 4,500円/10a以内(県1/2、JA香川県1/2)  
B区分:8ha以上10ha未満 3,000円/10a以内(県1/2、JA香川県1/2)

**要件**

- 前年産と比較して維持拡大する計画を10月末までにJAに提出
- 年内播種面積を確認し、A・B区分に応じて助成(計画申請の範囲内)
- 対象は認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織

# 「これからの香川の米を考える」その③



米の生産調整については、平成30年産以降、行政による生産数量目標の配分が行われなくなり、国から提示される需給見通し等を踏まえ、売れ残りが発生しないよう、需要に応じた生産を進めることが必要になります。

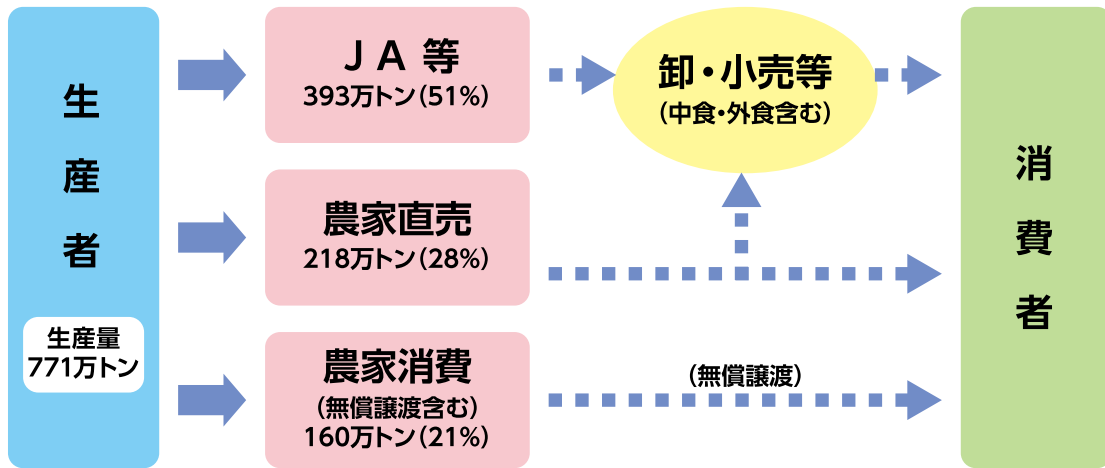
こうしたことから今後の香川の米生産、水田農業のあり方をみんなで一緒に考えていくため、数回に分けて連載することとしています。3回目の今回は主食用米の消費動向や米穀情勢について、お知らせします。

## 主食用米の消費動向

### ①主食用米の流通状況

- ・ 主食用米はJA等による集荷・販売が51%、農家による直売が28%、農家消費（無償譲渡を含む）が21%となっています。
- ・ 消費者の家庭用の入手経路は、スーパーマーケット等の量販店が39%と最も多く、無償譲渡19%、生産者からの直接購入が12%となっており、インターネットによる購入も9%となっています（農林水産省資料より）。

#### 主食用米の流通状況（平成26年産）

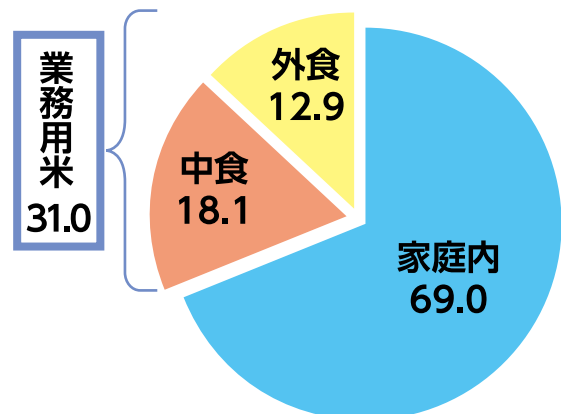


注）H28年7月農林水産省「米をめぐる関係資料」より

### ②中食・外食など業務用米需要の動向

- ・ 主食用米の総需要量は食生活の多様化により減少傾向が続いていますが、消費の内訳をみると、家庭内消費が69%、中食・外食などの業務用米は31%となっており、家でご飯を炊いて食べる消費が減少する一方、中食・外食の割合は増えています。
- ・ 業務用米の消費量は320万トンで、生産量の4割に達しているという全農の推計もあり、最近ではコンビニ等でのおにぎり、お弁当による消費が増えています。

#### 主食用米の消費割合％（平成27年度平均）



注）米穀安定供給確保支援機構調べ

## 米穀情勢

平成27/28年(平成27年7月～平成28年6月)の米穀の需要実績は765万トンとされ、これに伴い平成28年6月末民間在庫量は205万トンと見込まれます。また、平成28/29年(平成28年7月～平成29年6月)の需要見通しは761万トンとなっています。

平成28年産米が生産数量目標どおりの生産量743万トンとなった場合は、平成29年6月末民間在庫量は187万トンと試算されています。

平成28年産米の作況にも影響されますが、民間在庫量が需給均衡の目安とされる200万トンを下回る水準まで圧縮された場合、平成28年産米の価格は上昇が予想されます。しかし、急速に米価格が上昇した場合、実需者、特に中食・外食業者との安定取引に支障をきたし、SBS輸入米などへの切り替え、一方では買い控えによる消費の減少を招く懸念もあります。



### 平成27/28年の需要実績及び平成28/29年の需給見通し

(単位:万トン)

平成27/28年需要実績(速報値) $A=①+②-③$	765	
平成27年産主食用米等生産量 ①	744	
平成27年6月末民間在庫量 ②	226	
平成28年6月末民間在庫量 ③	205	
平成28年6月末民間在庫量 B	205	
平成28年産主食用米等生産量 C	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計 $D=B+C$	948	940
平成28/29年主食用米等需要量 E	761	761
平成29年6月末民間在庫量 $F=D-E$	187	179

※H28年7月農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より

4Pのように消費動向をみると家庭内消費は減少し、中食・外食向けの米は伸びていますが、それぞれ向き不向きの銘柄があります。例えば、現在は、新規需要米等の取組みにより業務用途向け銘柄が主食用に回らなくなり、業務用途向け銘柄は不足感があります。つまり、こういった銘柄は売れる米といえます。

平成30年産からは需要に応じた生産と言われてっていますが、全体の生産量だけでなく、販売先用途に応じた売れる銘柄を生産することが重要となります。

香川県でも同様にコシヒカリを中心とした家庭用精米の需要は減少しており、ヒノヒカリなどの業務用途向けの引き合いが強くなっています。情勢は目まぐるしく変化しますが、需要に応じた銘柄を生産することにより販売力アップを目指しましょう。

## 内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会指導部指導課

香川県農政水産部 農業生産流通課

香川県農業再生協議会ホームページ

TEL: 087-825-2503

TEL: 087-832-3418

<http://www.kagawa-saiseikyo.jp/>

# 「おいでまい」栽培者募集案内



「おいでまい」シンボルマーク

県オリジナル水稻品種「おいでまい」の普及と品質・食味を確保したブランド化を図るため、香川県、JA香川県、生産者代表等で構成する「おいでまい」委員会において、平成29年産の栽培者を次のとおり募集します。

募集後、「おいでまい」委員会が、一定の基準により生産者を認定します。

**① 募集期間** 平成28年 **10月11日** 火 ~ **11月30日** 水  
(「おいでまい」委員会締め切り日必着)

**② 応募書類の入手・応募方法**  
平成29年産「おいでまい」栽培実施要領、栽培者審査・認定要領（「栽培者認定申請書」を含む。）等の必要書類は、最寄りのJA香川県各地区営農センター及び支店に準備しています。  
また、香川県ホームページ「さぬきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロードできます。  
応募する方は、「おいでまい」委員会締め切り日に間に合うよう「栽培者認定申請書」を作成し、最寄りのJA香川県各地区営農センター又は支店に提出して下さい。

**③ 問い合わせ先**

- 最寄りのJA香川県各地区営農センター又は支店
- 「おいでまい」委員会事務局  
(香川県農政水産部農業生産流通課 農産グループ) …… **tel 087-832-3418**
- JA香川県本店営農部農産販売課 …………… **tel 087-818-4109**

**④ 応募資格**

- 応募者は、「おいでまい」栽培を希望する農業者、農業法人、集落営農組織、特定農業団体の構成員です。
- 以下の要件を満たし、「おいでまい」を栽培できる方とします。

**⑤ 栽培者が備えておくべき事項**

- (1) 乾燥機、粃摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。
- (2) 自家育苗をしていること。  
※(1)、(2)について、平成29年産「おいでまい」認定栽培者へ乾燥調製や育苗を委託する場合は、作業委託・受託同意書を併せて申請することで可能とする。
- (3) 平成28年産水稻の11月末までの農産物検査実績があること。ただし、平成28年産「おいでまい」認定栽培者にあっては11月末までの「おいでまい」の農産物検査実績があること。
- (4) 平成28年産「おいでまい」認定栽培者については、「おいでまい」委員会から、平成28年産「おいでまい」栽培者審査・認定要領第14条に基づく、認定の取消を受けていないこと。

**⑥ 栽培者が守るべき事項**

- (1) 「おいでまい」委員会や県、JAが開催する講習会、研修会、検討会にできるだけ参加し、栽培管理について、指導を受ける。
- (2) 田植えの時期は、「おいでまい」田植え適期マップで示された時期を目安とする。(平坦部の田植えの時期は、6月20日以降とする。)
- (3) ライスグレーダーの篩目は、1.85mm以上を使用する。
- (4) 「おいでまい」の種子、苗が余った場合は、適切に処分し、決して他者に譲渡しない。  
また、自家採種や、有償、無償にかかわらず他者への種子譲渡は、行わない。
- (5) 収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味分析を受け、その結果を報告する。(JA出荷者については、JAがまとめて報告する。)
- (6) 栽培履歴を記帳する。

